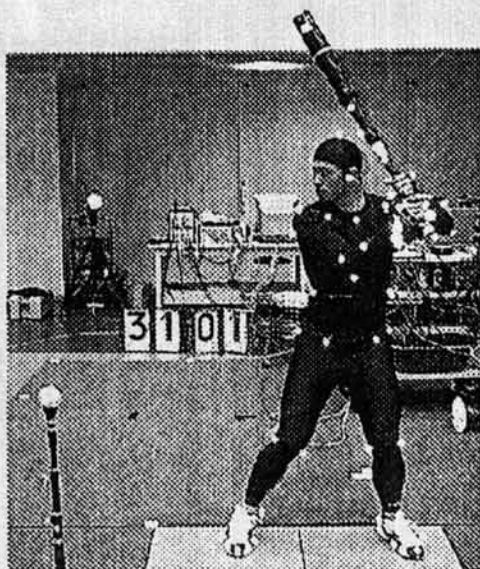


# 選手の動き 3次元解析



数学理論でバッティングフォームも解析する

## コンピュータコンビニエンス

ソフト開発のコンピュータコンビニエンス(福岡市、野藤泰昇社長、092・474・5106)は産業技術総合研究所と共同で、バットスイングなどスポーツの動きを3次元で解析、理想のフォームの矯正に役立つソフトを開発した。「カオス理論」と呼ぶ数学理論を応用、実際の動きと理想型とのかい離度合いを数値化し、問題点を克服す

## 理想のフォームに矯正

る。年内に販売する。新ソフトは体の関係部位にマーカーを張り付けたうえで、それぞれの動きをビデオカメラで撮影。部位同士がどう連携しているのか、各部位の実際の動きが理想型とどう違うのかなどを縦・横・高さから分析する。リハビリテーションの進捗よく度合いの確認などにも利用できる。価格は一億八十四万円。